



高橋 祐子 田野 香織

いながわ 特派員報告

ほっとライン24
の誕生

平均寿命が延び高齢化の進む現代。本町でも住民の健康とあわせ医療費の抑制は大きな課題です。また核家族化が進むことによって、子育てや介護が困難な時代でもありません。

このような背景から、本町は伊丹市と連携し、住民の健康の保持増進と緊急時などの不安軽減を図ることを目的として、平成21年4月から「いながわ健康・医療相談ほっとライン24」をスタートしました。

健康で日々を楽しむ過ごすことは、みんなの願いです。

今回は住民の皆さんがいつでも気軽に利用できる「いながわ健康・医療相談ほっとライン24」の紹介です。



▲症状に応じた助言・指導などを行います

暮らしの安心フリーダイヤル いながわ健康・医療相談ほっとライン24

いながわ 健康・医療相談ほっとライン24

24時間年中無休 健康・医療相談

24時間 急々ゴー

フリーダイヤル **0120-024-995**
通話料無料

〈利用方法〉名前と年齢を告げて利用してください。

利用方法

本町の住民ならごなたでも、24時間365日無料で健康・医療に関する電話相談が

できます。

電話は本町の業務委託先であるティーベック㈱(東京都千代田区)のハロー健康相談24の窓口につながります。はじめに本町の住民である



▲診療可能な医療機関なども案内します

かの確認や氏名・年齢などの簡単な確認がありますが、個人情報や相談内容が公表されることはありませんので安心して相談できます。

ティーベック㈱専任スタッフのドクター(内科・小児科・産婦人科・耳鼻咽喉科・泌尿器科・歯科など)、ヘルスカウンセラー(保健師・助産師・看護師・心理カウンセラー・管理栄養士・ケアマネージャーなど)が症状に応じた家庭での対処方法、医療へのかかり方などについて助言・指導を行います。

また必要に応じて診療可能な医療機関の案内などを行います。電話番号は左上に掲示しています。

例えばどんな時?

ここに全国からハロー健康相談24に寄せられた相談内容

の一例を紹介します。

◆息子のアトピーがひどく、かゆみで夜も眠れないようです。病院でステロイド軟膏を処方されていますが、副作用が心配なのですが・・・

◆地域の健康診断で中性脂肪が360と言われました。再検査の前に日常生活で注意していくことを教えてください

ら解消しますか。

◆70歳になる父が要介護1と認定されましたが、認知症の症状が進んできたようです。再度調査をしてもらいたいです。

◆日常生活での気になる体の不調や、病気にに対する不安、ストレスから心に不調があらわれることは誰にでもあることです。

自分自身のことだけでなく、家族の介護や子育てについてふと疑問に思うことがあるかも知れません。そんな時は一度相談してみませんか。

利用状況

平成22年度における住民からの電話相談の利用件数は1459件でした。住民の利用率は12・6パーセントで、相談者は30代の女性が圧倒的に多くなっています。

全国の利用者で見ても、30代の女性の利用が多く、主婦層からの育児相談や家族の健康に関する相談が多くなっています。その他には、夜間休日の医療機関やストレス、メンタルヘルスに関する相談も寄せられています。

皆さんの健康づくりに役立ててください

本町は全国でも平均寿命が非常に長い自治体ですが、寝たきりにならないよう“健康寿命”を延ばすことや、医療費の抑制に取り組んでいます。



保健センター 飯田勝美 所長

お気軽に相談ください

住民の皆さんの暮らしの安心のため、健康・医療に関することは、「いながわ健康・医療相談ほっとライン24」へご相談ください。

「私もハチに刺されて電話相談したことがあります。アドバイスしてもらったことで、とても安心できて良かったですよ。」

また、保健センターでは、健康づくりを目的とした各種健診の実施やさまざまな相談の受付など年間を通して行っています。

どちらも毎月1日に発行される広報いながわの「保健だより」のコーナーに掲載していますので、皆さんの健康づくりに役立てていただければと思います。

▶ 問合せ保健センター (☎ 766-1000)

後編 編集集



「こんな便利なもの(いながわ健康・医療相談ほっとライン24)があるなんて知らなかった!」といった声を聞きました。皆さんの中にも今まで知らなかったという人が多いかも知れません。今後は身近な相談相手としてぜひ利用してみてください。